



14時30分解禁

2025年12月 全国百貨店売上高概況

2026年1月23日

I. 概況

1. 売上高総額	6, 542億円余
2. 前年同月比（増減率）	
（1）全 国	－1.1%（5か月ぶりマイナス）
①10都市（10地区）	－0.4%（5か月ぶりマイナス）
②10都市以外（7地区）	－3.6%（2か月連続マイナス）
（2）国 内	0.6%（5か月連続プラス）
（3）インバウンド（免税売上）	－17.1%（2か月連続マイナス）※

※インバウンド（免税売上）は、別紙「免税売上高・来店動向」参照

【特徴】

12月の売上高（1.1%減）は、5か月ぶりに前年を下回った。休日数日曜1日減に加え、インバウンド売上が前年を大きく下回ったことが影響した。国内売上は宝飾、時計等の高額品が好調に推移し、5か月連続でプラスとなった。おせちやクリスマスケーキ等の季節商材も堅調だった他、長期連休となった年末商戦は食料品を中心に活況を呈した。

インバウンド（免税売上）：売上高519億円（17.1%減/2か月連続/シェア7.9%）、購買客数50.0万人（16.7%減/2か月連続）と共にマイナス。国別では、中国は訪日渡航自粛要請も影響し、売上・客数共に約4割減少。台湾、タイ、マレーシアは伸長。

国内市場：0.6%増（シェア92.1%）と5か月連続でプラスを維持。10都市は1.9%増（仙台、広島、福岡を除く7地区プラス）。地方（10都市以外の7地区）は衣料品が振るわず3.5%減（全地区マイナス）と苦戦。

都市（10都市） 【免税売上含む】：国内好調もインバウンド売上減をカバー出来ず5か月ぶりマイナス。3地区（名古屋、横浜、神戸）対前年プラス。美術・宝飾・貴金属は二桁増と伸長。

地方（10都市以外の7地区） 【免税売上含む】：全地区マイナスとなり2か月連続減。東北は地震による一部店舗の休業等もあり二桁減。金製品や時計好調で美術・宝飾・貴金属二桁増。

商品別：主要5品目のうち、雑貨のみ対前年プラス。衣料品は、平年に比べ気温が高く、冬物重衣料の動きは鈍かったが、ニット等今着られるアイテムは好調。時計は一部ブランドで価格改定前の駆け込みが見られた。アクセサリはシーズン需要もあり好調。食料品は価格高騰により生鮮食品は低調も、菓子や惣菜は好調に推移。

年間売上高（2025年1月～12月）：

	合 計	国 内	インバウンド		免税・購買客数
売上高	5兆6,754億円	5兆1,087億円	5,667億円	購買客数	621.4万人
対前年比	1.5%減	0.1%減	12.7%減	対前年比	2.9%増

商品別では、化粧品や高額品を含む雑貨が前年実績を上回った。地区別では、5地区（札幌、横浜、名古屋、大阪、神戸）で対前年プラス。インバウンドは、購買客数が過去最高を更新。

【要因・その他】

(1)天 候： 気象庁発表「12月の天候」の特徴は以下のとおり（一部抜粋）

◇気温は、冬型の気圧配置が長続きせず、低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、全国的に高かった。日照時間は、高気圧に覆われやすかった西日本太平洋側でかなり多く、降水量は、北日本日本海側と北日本太平洋側で多かった一方、西日本日本海側と西日本太平洋側では少なかった。

(2)営業日数増減31.0日（前年同月比±0.0日）、(3)土・日・祝日の合計8日（前年同月比日曜1日減）

(4)入店客数増減（有効回答店舗数102店舗）①増加：40店、②変化なし：25店、③減少：37店

(5)調査対象百貨店 70社 176店（2025年11月対比：±0店）（前年同月比：－2店）

(6)総店舗面積 4,458,175㎡（前年同月比：－1.0%）



全国百貨店 売上高速報 2025年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 () が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	654,272,224	100.0	-1.1
10都市	511,270,182	78.1	-0.4
札幌	20,353,323	3.1	-1.6
仙台	8,511,649	1.3	-4.6
東京	190,465,394	29.1	-0.2
横浜	41,462,714	6.3	3.8
名古屋	49,124,881	7.5	4.1
京都	31,263,312	4.8	-0.4
大阪	113,446,853	17.3	-2.4
神戸	19,020,482	2.9	1.9
広島	9,680,905	1.5	-2.6
福岡	27,940,669	4.3	-5.2
10都市以外の地区	143,002,042	21.9	-3.6
東北	4,785,508	0.7	-10.1
関東	64,622,852	9.9	-3.2
中部	8,688,563	1.3	-4.4
近畿	23,145,932	3.5	-2.1
中国	10,570,033	1.6	-3.2
四国	7,389,561	1.1	-2.9
九州	23,799,593	3.6	-5.0

注) 2023年2月より、北海道の1店舗を地区区分10都市の札幌に合算しております。

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	654,272,224	100.0	-1.1
紳士服・洋品	32,762,705	5.0	-7.4
婦人服・洋品	110,485,509	16.9	-3.1
子供服・洋品	7,444,207	1.1	-7.5
その他衣料品	7,005,121	1.1	-9.3
衣 料 品	157,697,542	24.1	-4.5
身のまわり品	99,264,902	15.2	-4.3
化粧品	52,946,977	8.1	-4.1
美術・宝飾・貴金属	64,786,808	9.9	12.2
その他雑貨	15,943,776	2.4	1.9
雑 貨	133,677,561	20.4	3.9
家 具	4,545,496	0.7	-1.6
家 電	1,621,913	0.2	-11.6
その他家庭用品	12,922,613	2.0	-3.5
家 庭 用 品	19,090,022	2.9	-3.8
生 鮮 食 品	34,965,903	5.3	-3.8
菓 子	70,287,597	10.7	2.8
惣 菜	50,506,612	7.7	0.1
その他食料品	52,183,823	8.0	-5.4
食 料 品	207,943,935	31.8	-1.2
食 堂 喫 茶	11,767,706	1.8	-0.2
サ ー ビ ス	4,217,051	0.6	2.3
そ の 他	20,613,505	3.2	14.7
商 品 券	12,155,422	1.9	-9.5

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。



Ⅱ. 地区別の動き

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

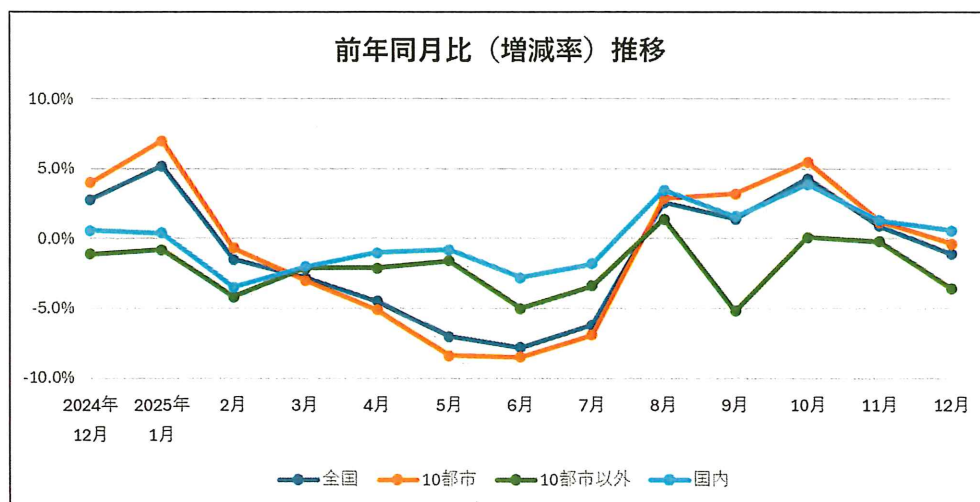
地区	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
10都市	-0.4	-0.3	5か月ぶりマイナス
札幌	-1.6	-0.0	2か月連続マイナス
仙台	-4.6	-0.1	2か月連続マイナス
東京	-0.2	-0.1	2か月連続マイナス
横浜	3.8	0.2	2か月ぶりプラス
名古屋	4.1	0.3	5か月連続プラス
京都	-0.4	-0.0	3か月ぶりマイナス
大阪	-2.4	-0.4	5か月ぶりマイナス
神戸	1.9	0.1	5か月連続プラス
広島	-2.6	-0.0	3か月ぶりマイナス
福岡	-5.2	-0.2	3か月ぶりマイナス
10都市以外の地区	-3.6	-0.8	2か月連続マイナス
東北	-10.1	-0.1	5か月連続マイナス*
関東	-3.2	-0.3	2か月連続マイナス
中部	-4.4	-0.1	11か月連続マイナス
近畿	-2.1	-0.1	3か月ぶりマイナス
中国	-3.2	-0.1	3か月ぶりマイナス*
四国	-2.9	-0.0	3か月ぶりマイナス
九州	-5.0	-0.2	4か月連続マイナス

(注1) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

(注2) 2023年2月より、北海道の1店舗を地区区分10都市の札幌に合算した。

【前年同月比(増減率)推移】

	2024年 12月	2025年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全 国	2.8	5.2	-1.5	-2.8	-4.5	-7.0	-7.8	-6.2	2.6	1.4	4.3	0.9	-1.1
10 都 市	4.0	7.0	-0.7	-3.0	-5.1	-8.4	-8.5	-6.9	2.9	3.2	5.5	1.2	-0.4
10都市以外	-1.1	-0.8	-4.2	-2.1	-2.1	-1.6	-5.0	-3.4	1.4	-5.2	0.1	-0.2	-3.6
国 内	0.6	0.4	-3.5	-2.0	-1.0	-0.8	-2.8	-1.8	3.5	1.6	3.9	1.3	0.6





Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は雑貨がプラスとなり、その他4品目がマイナスとなった。
その他の品目は美術・宝飾・貴金属、菓子が5か月連続、惣菜が3か月連続でプラスとなったが、紳士服・洋品、婦人服・洋品が3か月ぶり、化粧品が5か月ぶり、生鮮食品が21か月連続でマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	-1.1	-	5か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-7.4	-0.4	3か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-3.1	-0.5	3か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-7.5	-0.1	2か月連続マイナス
その他衣料品	-9.3	-0.1	2か月連続マイナス
衣料品	-4.5	-1.1	3か月ぶりマイナス
身のまわり品	-4.3	-0.7	2か月連続マイナス
化粧品	-4.1	-0.3	5か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	12.2	1.1	5か月連続プラス*
その他雑貨	1.9	0.0	8か月連続プラス*
雑貨	3.9	0.8	5か月連続プラス
家具	-1.6	-0.0	2か月連続マイナス
家電	-11.6	-0.0	3か月連続マイナス
その他家庭用品	-3.5	-0.1	2か月連続マイナス
家庭用品	-3.8	-0.1	2か月連続マイナス
生鮮食品	-3.8	-0.2	21か月連続マイナス*
菓子	2.8	0.3	5か月連続プラス*
惣菜	0.1	0.0	3か月連続プラス*
その他食料品	-5.4	-0.5	2か月連続マイナス*
食料品	-1.2	-0.4	5か月ぶりマイナス
食堂喫茶	-0.2	-0.0	3か月ぶりマイナス
サービス	2.3	0.0	2か月連続プラス
その他	14.7	0.4	2か月ぶりプラス
商品券	-9.5	-0.2	22か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。



2025年12月 東京地区百貨店売上高概況

2026年1月23日

I. 概況

1. 売上高総額	1,904億円余
2. 前年同月比(増減率)	-0.2%(2か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭 の増減	店頭1.6%(92.1%)：非店頭-17.1%(7.9%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 22店 (2025年11月対比±0店) (前年同月比：±0店)
5. 総店舗面積	673,454m ² (前年同月比：0.2%)
6. 総従業員数	12,287人 (前年同月比：-2.8%)
7. 3か月移動平均値	5-7月 -9.9%、6-8月 -8.1%、7-9月 -3.7%、 8-10月 1.4%、9-11月 1.9%、10-12月 0.9%

[参考] 2024年12月の売上高増減率は1.6%

【特徴】

12月の東京地区は、売上高0.2%減と2か月連続のマイナスとなった。インバウンド売上は中国の訪日渡航自粛要請影響から苦戦したが、国内売上は2.4%増と4か月連続のプラスとなった。宝飾や時計等の高額品が好調に推移した他、クリスマスや年末商戦は食料品を中心に活況を呈した。具体的なアイテムの動向は以下の通り。

衣料品(1.1%減)：平年に比べ気温が高く推移したため、ウールコートやダウンコート等の冬物重衣料は動きが鈍かったが、非ウールコートやジャケット、ニット等は高稼働。ストールやマフラー等の防寒商材も伸長。

身のまわり品(6.6%減)：インバウンドニーズ減から2か月連続のマイナス。アクセサリーはクリスマスやボーナス需要により好調。年末年始の旅行需要を受けトラベル関連も稼働。

雑貨(4.4%増)：化粧品はインバウンド需要減の影響が大きかったが、国内客はクリスマス関連のコフレやフレグランスが好調。美術・宝飾・貴金属(13.9%増)は、一部ブランドで価格改定前の駆け込みが見られた他、クリスマス、ボーナス需要で贈答・自家需要共に好調。

食料品(0.0%減)：クリスマス商戦は平日の曜日回りであったものの、当日需要が活況でカットケーキやオードブル等惣菜が伸長。おせちはECを中心に堅調に推移。歳暮はビールの供給減に代わり、コーヒーや菓子が伸長。

年間売上高(2025年1月~12月)：前年比2.9%減(1兆6,806億円)と5年ぶりに前年実績を下回った。2019年比(5.4%増)、2018年比(4.2%増)ではコロナ前の実績を上回った。

1月足元動向：初売りも好調な滑り出しとなり、前年比7.4%増(1/18時点)で推移。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日(前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数17店舗)
 - ①増加した：7店、②変化なし：4店、③減少した：6店
- (3) 12月歳時記(年末商戦(歳暮、クリスマス、年末年始商材))の売上(同上/有効回答数11店舗)
 - ①増加した：2店、②変化なし：7店、③減少した：2店



東京地区百貨店 売上高速報 2025年12月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	190,465,394	100.0	-0.2
紳士服・洋品	13,193,099	6.9	-2.3
婦人服・洋品	29,752,609	15.6	0.3
子供服・洋品	2,180,242	1.1	-7.7
その他衣料品	1,664,144	0.9	-5.9
衣 料 品	46,790,094	24.6	-1.1
身のまわり品	29,394,633	15.4	-6.6
化粧品	16,695,301	8.8	-5.5
美術・宝飾・貴金属	22,727,609	11.9	13.9
その他雑貨	4,857,969	2.6	1.6
雑 貨	44,280,879	23.2	4.4
家 具	1,593,561	0.8	5.4
家 電	997,347	0.5	-13.6
その他家庭用品	3,738,928	2.0	-4.5
家 庭 用 品	6,329,836	3.3	-3.8
生 鮮 食 品	6,557,148	3.4	-6.7
菓 子	18,799,146	9.9	4.9
惣 菜	14,102,445	7.4	3.2
その他食料品	14,925,892	7.8	-5.5
食 料 品	54,384,631	28.6	0.0
食 堂 喫 茶	2,466,560	1.3	3.7
サ ー ビ ス	1,895,306	1.0	0.8
そ の 他	4,923,455	2.6	11.9

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	2,711,216 千円	-9.3
従 業 員 数	12,287 人	-2.8
店 舗 面 積	673,454 m ²	0.2

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------



Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は雑貨がプラスとなったが、その他4品目はマイナスとなった。
その他の品目は、婦人服・洋品が4か月連続、美術・宝飾・貴金属、菓子、惣菜が5か月連続でプラスとなったが、紳士服・洋品が4か月ぶり、化粧品が3か月連続、生鮮食品が21か月連続でマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	-0.2	—	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-2.3	-0.2	4か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	0.3	0.1	4か月連続プラス
子供服・洋品	-7.7	-0.1	2か月連続マイナス
その他衣料品	-5.9	-0.1	13か月連続マイナス
衣料品	-1.1	-0.3	4か月ぶりマイナス
身のまわり品	-6.6	-1.1	2か月連続マイナス
化粧品	-5.5	-0.5	3か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	13.9	1.5	5か月連続プラス*
その他雑貨	1.6	0.0	4か月連続プラス*
雑貨	4.4	1.0	4か月連続プラス
家具	5.4	0.0	9か月ぶりプラス
家電	-13.6	-0.1	2か月連続マイナス
その他家庭用品	-4.5	-0.1	2か月連続マイナス
家庭用品	-3.8	-0.1	2か月連続マイナス
生鮮食品	-6.7	-0.2	21か月連続マイナス*
菓子	4.9	0.5	5か月連続プラス*
惣菜	3.2	0.2	5か月連続プラス*
その他食料品	-5.5	-0.5	4か月連続マイナス*
食料品	0.0	-0.0	2か月連続マイナス
食堂喫茶	3.7	0.0	3か月連続プラス
サービス	0.8	0.0	2か月連続プラス
その他	11.9	0.3	6か月ぶりプラス
商品券	-9.3	-0.1	22か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した



全国百貨店 売上高速報 2025年1月～2025年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	5,675,452,736	100.0	-1.5 (-1.7)
10都市	4,434,822,489	78.1	-1.3
札幌	165,118,843	2.9	0.9
仙台	72,649,794	1.3	-1.8
東京	1,680,607,267	29.6	-2.9
横浜	348,836,302	6.1	0.5
名古屋	421,475,932	7.4	2.1
京都	264,093,371	4.7	-2.3
大阪	1,003,185,518	17.7	0.3
神戸	153,993,212	2.7	1.8
広島	79,973,589	1.4	-4.6
福岡	244,888,661	4.3	-5.0
10都市以外の地区	1,240,630,247	21.9	-2.3 (-3.1)
東北	48,040,656	0.8	-3.1
関東	562,424,742	9.9	-2.3
中部	73,229,002	1.3	-2.7 (-14.0)
近畿	195,380,643	3.4	-0.6
中国	94,546,411	1.7	-2.8 (-3.3)
四国	65,291,907	1.2	-2.2
九州	201,716,886	3.6	-3.2

注) 2023年2月より、北海道の1店舗を地区区分10都市の札幌に合算しております。

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	5,675,452,736	100.0	-1.5 (-1.7)
紳士服・洋品	293,564,800	5.2	-3.9 (-4.1)
婦人服・洋品	1,053,006,281	18.6	-1.7 (-1.9)
子供服・洋品	84,003,059	1.5	-3.0 (-3.2)
その他衣料品	75,246,019	1.3	-2.5 (-2.6)
衣 料 品	1,505,820,159	26.5	-2.2 (-2.4)
身のまわり品	937,494,667	16.5	-7.5 (-7.6)
化粧品	508,512,470	9.0	1.3 (1.2)
美術・宝飾・貴金属	590,126,035	10.4	3.1 (3.0)
その他雑貨	156,505,107	2.8	1.7 (1.6)
雑 貨	1,255,143,612	22.1	2.2 (2.1)
家 具	47,177,455	0.8	-4.4 (-4.6)
家 電	19,515,054	0.3	9.0 (8.8)
その他家庭用品	120,533,204	2.1	-1.1 (-1.8)
家 庭 用 品	187,225,713	3.3	-1.0 (-1.5)
生 鮮 食 品	229,627,510	4.0	-3.5 (-3.7)
菓 子	478,220,219	8.4	1.7 (1.5)
惣 菜	337,464,626	5.9	-0.6 (-0.7)
その他食料品	412,042,465	7.3	-0.9 (-1.1)
食 料 品	1,457,354,820	25.7	-0.4 (-0.6)
食 堂 喫 茶	126,031,520	2.2	-1.8 (-2.0)
サ ー ビ ス	49,139,375	0.9	0.8 (0.8)
そ の 他	157,242,870	2.8	4.5 (4.4)
商 品 券	77,663,456	1.4	-9.3 (-9.4)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。



東京地区百貨店 売上高速報 2025年1月～2025年12月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	1,680,607,267	100.0	-2.9
紳士服・洋品	120,725,112	7.2	-3.2
婦人服・洋品	276,794,876	16.5	-1.0
子供服・洋品	25,945,092	1.5	-4.4
その他衣料品	17,629,229	1.0	-6.4
衣 料 品	441,094,309	26.2	-2.0
身のまわり品	294,737,675	17.5	-9.1
化粧品	160,946,348	9.6	0.2
美術・宝飾・貴金属	207,057,339	12.3	2.4
その他雑貨	49,670,422	3.0	-8.3
雑 貨	417,674,109	24.9	0.2
家 具	16,125,687	1.0	-7.9
家 電	13,716,818	0.8	14.9
その他家庭用品	37,428,926	2.2	-1.2
家 庭 用 品	67,271,431	4.0	-0.1
生 鮮 食 品	44,331,380	2.6	-5.0
菓 子	123,202,364	7.3	-0.2
惣 菜	85,077,013	5.1	-0.3
その他食料品	122,712,775	7.3	-2.4
食 料 品	375,323,532	22.3	-1.6
食 堂 喫 茶	26,347,896	1.6	-8.1
サ ー ビ ス	24,505,423	1.5	-0.1
そ の 他	33,652,892	2.0	-10.4

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	18,455,060 千円	-9.2
従 業 員 数	149,110 人	-5.1
店 舗 面 積	8,040,800 m ²	-5.7

営 業 日 数	30.3 日	前年	30.4 日
---------	--------	----	--------

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・青柳 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>